施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　04月　07日

施策 No.	16	施策名	農業の振興
主管課名	農政課	電話番号	0285-83-8136
関係課名	生産調整推進室、農業委員会事務局、プロジェクト推進室		

1. 計画（Plan）

施策の対象	農業従事者						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
農業従事者	人	3,892	3,892	3,892			
農家戸数	戸	3,073	3,073	3,073			
耕地面積	ha	7,930	7,940	7,940			

施策の目標	農用地の集積・集約化やスマート農業の導入により、収益性の高い農業生産構造が確立され、農作業の効率化と安定した農業経営が図られています。 また、ICT機器等の導入により、いちご生産農家の栽培技術が向上し、「いちご生産量日本一」のまちとして、全国のいちご生産をリードしています。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	認定農業者数、新規就農者数、担い手農家への農地集積率、市外からの新規就農者数は、農政課データによる。 いちご販売額、園芸作物販売額は、JAはが野データによる。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
認定農業者数	目標値	人	557	570	595	620	645	670	670
	実績値			529	526	535			
新規就農者数（5か年累計）	目標値	人	110	115	120	125	130	135	135
	実績値			80	78	91			
担い手農家への農地集積率	目標値	%	59.4	63.0	63.5	64.0	64.5	65.0	65.0
	実績値			63.2	65.3	63.2			
いちご販売額	目標値	億円	81.1	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0	90.0
	実績値			78.6	81.9	86.0			
園芸作物販売額	目標値	億円	18.0	18.0	18.5	19.0	19.5	20.0	20.0
	実績値			15.1	14.6	14.2			
市外からの新規就農者数（5か年累計）	目標値	人	4	5	5	5	5	5	5
	実績値			6	6	5			
「いちごのまち」とイメージする市民の割合	目標値	%	51.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	70.0
	実績値			56.0	59.1	58.1			

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	○市民：地産地消に取り組みます。 生産者と農業団体は、「経営の効率化」、「安全で安心な農産物の安定供給」、「農村の環境整備」等に取り組みます。 ○行政：次代を担う地域の担い手の育成確保に努め、担い手等へ農地の集積・集約化を図るとともに農業経営の安定を促進し、農業・農村の活性化を図ります。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

○担い手育成・確保

認定農業者になることで受けられる補助事業等の周知や５年間の認定期間満了前に更新依頼を呼びかけを行ったことが認定農業者数の増加につながった。

また、他産業就業後就農者が全体の半数を占めていることから、県内外の新規就農相談会へ４回参加してことにより本市における就農環境をPRできたことが新規就農者数の増加につながった。

担い手の育成、確保の面では、時代の流れとともに、営農の規模縮小や離農、また後継者不足による農業経営困難といったケースが増えることが予想されることから新たな担い手をどのように確保していくかが課題である。また、就農するにあたって、特に圃場の確保が課題である。

○農地集積

市内の農地約６割が集積されていることが集積率の伸び率が停滞している。今後、規模縮小や離農、また後継者不足による農業経営が困難など新たに農地の貸付を希望する者に対する担い手確保と営農における省力化を目指した集積・集約化が課題となる。

○園芸作物の振興

いちご販売額は、生産戸数、生産面積ともに減少傾向にあるが、「とちおちめ」から「とちあいか」への栽培移行が進んでおり、販売額は増加している。

園芸作物の生産者、耕作面積、生産量の減少により、販売額は落ち込んでいる。

いちごのまちのイメージ率については、いちごPR事業が新型コロナウィルスの影響により計画どおり実施できず増加に至らなかった。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

○担い手育成・確保

新たな担い手確保に向け、令和４年度は県内外の就農相談会へ４回出向いた結果、新規就農者が増加し効果的であったことから令和５年度は県内外の就農相談会への参加を２回増やし６回とし、真岡市における就農環境についてＰＲ活動を行う。

また、新規就農者が圃場を確保することが課題となっていることから、現在他事業で行っている意向調査や認定農業者の更新手続きの中で、経営規模の縮小や離農を希望する者など今後の営農を継続しない方などに対し、農地バンクの活用を促し新規で就農を希望する者へ農地の貸し手として協力いただけるよう働きかける。

○農地集積

経営農地の拡大や経営の安定化のため担い手への農地の集積、集約化が課題となっており、現在進めている地域計画策定の中で、担い手の１０年後のあり方を示した目標地図の作成が必須であるため担い手の意向を十分に反映した目標地図作成にあたり、地域座談会において担い手の意向を適正に把握していく。

○園芸作物の振興

新たな担い手確保と農地の集積、集約化が経営農地の拡大や経営の安定化につながることから、栃木県やJA等関係機関と連携し、引き続き新規就農者の確保と、意欲ある農業者の園芸作物の規模拡大や品質向上に努め、施設整備等や露地野菜生産に係る支援策を通じた産地づくりを推進する。

いちごについて、生産技術の底上げ、農業所得・農業従事者の確保、農作業の省力化などの諸課題を解決するため、スマート農業の取り組みを引き続き推進するとともに、多収化・高品質化及び技術継承の迅速化に対して効果が期待されるICT機器の導入支援をすることにより、いちご生産日本一としての生産量、販売額を維持し、園芸作物の振興に繋げる。

アフターコロナを踏まえたイベント等の開催など、いちごPR事業を実施し、SNSなどを活用し市内外に「いちごのまち」を発信するとともに、いがしらリゾート活性化事業の一環として、観光いちご園増設に向けて圃場の確保や就農者の育成を行い農業拠点整備の推進を図る。

○いちごPRを通じたプロモーションの展開

70周年記念事業としてのいちごまつり等イベントの開催

その他、いちご王国栃木の首都もおかとしてのいちごに関するプロモーションの実施

いがしらリゾートの井頭観光いちご園でのグリーンツーリズム等事業の実施

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1	総重/戦新	井頭周辺活性化事業	プロジェクト推進課井頭周辺整備係	井頭温泉入館者数	人	206,016	事業のやり方改善
				チャットパレス宿泊者数	人	7,941	事業のやり方改善
				あぐ里っ娘利用者数	人	150,765	事業のやり方改善
				井頭観光いちご園入場者数	人	17,107	事業のやり方改善
				井頭公園利用者数（プール含む）	人	715,054	事業のやり方改善
2	総重	新規就農者育成確保支援事業	農政課農政係	市内で就農した研修生	人	0	事業のやり方改善
				新規就農者数	人	30	事業のやり方改善
3	総重	いちごPR事業	農政課農業振興係	いちごまつり参加人数(推計)	人	0	予算増大
				いちごのまちとイメージする市民割合	%	58.1	予算増大
				いちごまつり代替事業参加者	人	137	予算増大
4	総重	いちご生産施設整備等支援事業	農政課農業振興係	支援を受けた農家数	戸	14	現状維持
				支援を受けた農家の割合	%	3.4	現状維持
5	総重	園芸作物生産施設整備等支援事業	農政課農業振興係	支援を受けた農家数		1	事業のやり方改善
				支援を受けた農家の割合		0.5	事業のやり方改善
6		人・農地問題解決加速化支援事業	農政課農政係	利用権設定件数	件	298件	事業のやり方改善
				利用権設定面積	ha	186.6ha	事業のやり方改善
				地域の中心となる経営体数	経営体	314	事業のやり方改善
7		農業経営対策推進事業	農政課農政係	認定農業者数	経営体	529	現状維持
				地域の中心となる経営体数	経営体	323	現状維持
				家族経営協定締結数	経営体	220	現状維持
8		配合飼料価格安定支援事業	農政課農業振興係	補助農家戸数	戸	39	現状維持
				補助を受けた畜産農家の全畜産農家に対する割合	%	90.7	現状維持
9		畜産公害対策支援事業	農政課農業振興係	購入組合員数	戸	28	現状維持
				（畜産農家に対する）補助実施率	%	77.8	現状維持
10		優良種豚導入支援事業	農政課農業振興係	補助導入農家数	戸	0	現状維持
				導入率	%	0	現状維持
11		真岡グリーンツーリズムの推進	農政課農業振興係	イベント・ツアー等開催回数	回	1	事業のやり方改善
				研修会等実施回数	回	1	事業のやり方改善
				サポーター数	名	16	事業のやり方改善
12		市単利用権設定等促進事業	生産調整推進室公社指導係	利用権設定奨励金受給者	人	174	現状維持

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
				利用権設定面積	ha	240.4	現状維持
13	総重	いがしらリゾート農業拠点施設（観光いちご園等）整備事業	農政課農業振興係	観光客数（井頭エリア）	万人	109	予算増大
				観光いちご園入園者数	人	17,107	予算増大
				あぐ里っ娘（直売所）利用者数	人	150,765	予算増大
				イートインスペース使用人数（推計）	人	3,045	予算増大
				体験圃場利用者	組		予算増大
14		農業用廃プラスチック適正処理事業	農政課農業振興係	支援を受けた農家数	人	659	現状維持
				処理量	トン	300.1	現状維持